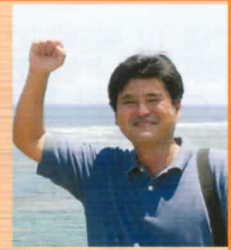


名護市  
議会議員

# 東恩納たくま



発行：東恩納たくま  
携帯：090-9786-9471

名護市字瀬高48 電話・FAX：0980-55-8587  
ホームページ：www.takumahigashionna.jimdo.com

議会報告第22号

## 旧消防署跡地 市長の親族会社に売却

東江区の旧消防署跡地が、渡具知市長の親族が関係する企業に売却されたことを皆さんご存じですか。現在、市議会ではその経緯を調べるために百条委員会が開かれています。しかし百条委員会で出された情報は非公開とされ、新聞でもほとんど報道されていません。

### 書き換えられた説明書

議会の欺き承認を得る

百条委員会とは別に、私が昨年十二月議会の一般質問と、今年一月に情報公開請求により入手した資料で、重大な事実が明らかになりました。旧消防庁舎跡地は、大和ハウス・アベストJVが地元名護市の企業として実績のある株式会社ホクセイに土地を売却すると事業スキームで説明し、提案型入札(プロポーザル)で高得点を獲得して買受の権利を獲得しました。ところが議員の承認を得る議会では、ホクセイの文字が消さ

れ名護市を所在とする新設法人が設立されると説明がされたのです。



週刊誌に掲載された消防署跡地問題

しかも大和ハウス・アベストJVより一億三千万円の高値を付けた企業が他にあったことは議会に伏せられていました。

なぜ、大手の大和ハウスが名護市に新設法人を設立するかのようになり書き換えられたのか。それは「ホクセイ」の親族会社が渡具知市長の親族が役員を務める丸政工務店であり、議会で「ホクセイ」の名前を出せば、市長の親族企業への売却が判明し、議会の承認が得られなくなる事を恐れたからではないでしょうか。(同じ日付け、同じ名前、違う内容の二つの説明書を別紙に添

付します。)

さらに議会承認後、この土地は「新設法人」でもない金武町から名護市に移転したサーバントというペーパーカンパニーに売却されました。サーバントもホクセイ同様丸政工務店の子会社です。丸政工務店は辺野古の埋立工事の受注で大儲けし、自民党北部支部に献金を行っている会社でもあります。

### 議会の承認をやり直すべき

このようなカラクリで、名護市の財産である土地が市長の親族会社に渡ったことを、認めてよいのでしょうか。私はもう一度、議会の承認をやり直すべきだと考えます。三月議会でもこの件に関して追求しましたが、市長は回答をすべて国から派遣された職員に任せ、自分は大んまりを決め込んでいます。この件では市民が市長に対して訴訟も起こしています。市長の身内を優遇する市政ではなく、市民のための市政を取り戻す必要があります。共に取り組んで行きましょう。

## 東恩納たくまの一般質問

東恩納たくまは三月議会で以下の質問を行いました。

- 基地問題について
- (1) キャンプ・シユワープでの伐採工事について
- (2) 辺野古ダム工事について
- 子育て支援について
- 旧消防庁舎等跡地について
- 就学援助制度について
- 保育料、こどもの医療費について
- わんさか大浦パーク機能強化事業について

以下、要約と解説を行います。

### ○基地問題について

(1) キャンプ・シユワープ内、第2第3ゲート付近で伐採工事が進行しているようだが、これまで市としてどのような協議あるいは手続を行ったのか。

防衛局から形質変更通知が出される前に工事が着工していたのは違反ではないのか。

**市回答** 沖縄防衛局は商用車両用ゲート整備工事について市に事前に口頭で説明をし、また法令に基づく森林伐採届を市に提出しており、伐採を行うことを事前に連絡していたと認めており、契約に反するものではない。

**解説** 今回の伐採工事に関して、基地機能の拡張、新基地建設工事を進めるためのインフラ強化が懸念されています。しかし市は防衛局と沖縄県との協議が続くなか、県に協議内容を確か

めることもせず、伐採届けを受理しました。さらには、土地建物等賃貸借契約書に基づき、事前に名護市に提出しなければならぬ形質変更通知を、防衛局が行っていないにもかかわらず、工事の着工を認めています。市民からの指摘があり、防衛局は、伐採が始まってから一週間後にこの変更通知を提出しています。

通知を出さずに伐採を開始したことは違反ではないかという私の指摘に対し、市は「口頭で伐採について聞いていた」「森林伐採届は提出されている」「事前通知が無かったのは違反とは言えない」とまたもや勝手な解釈で防衛局を擁護。法律や契約を見てもそんなことはどこにも書いてありません。

(2) 市が管理する辺野古ダムで、洪水吐きを切り替えるためにボーリング調査が行われ、工事が進められようとしているが、その工事は美謝川の切替工事ではないとの認識なのか。

**市回答** 沖縄防衛局が実施している工事は辺野古ダムにおける洪水吐の付け替え工事およびそれに接続する水路整備工事であると認識をしている。

**解説** 防衛局は辺野古ダム洪水吐付け替え工事を「美謝川切り替え工事」として業者に発注しています。それなのに、市はかたくなに美謝川切り替えのための工事と認めません。それはこれまでも美謝川切り替えのために本来必要な手続きを市が行わず、防衛局の工事を安易に許してきたからです。美謝川切り替え工事は新基地建設の

ための工事です。稲嶺進前市長は基地建設を止めるために名護市長ができることの一つとして美謝川の切り替えを認めない、としていました。その市長権限をあっさり手放し、基地建設を進める美謝川の工事を見て見ぬふりをしているのが今の渡具知市長です。伐採工事同様、この工事に関しても名護市は防衛局への忖度全開。渡具知市長は国の言いなりです。

### ○子育て支援について

国も県も子供の支援に力を入れてきている。市としても名護の未来を担う子どもたちに手厚く支援するのは当然のこと。それなのに沖縄県民にとっても名護市民にとっても負の遺産となる基地建設の見返りで子育てを支援するというのは本当にいかなものか。基地は生産の場を奪い、経済効果を産まないというところは、跡地利用を見たらすべわかると思う。基地建設の出来高払いを子ども支援に充てることは子どもにとって負い目を与えることにならないか。大人の責任として再編交付金で子供支援に当てるのではなく、名護市は独自の予算措置を行うべきだと思ふ。市長の答弁をお願いします。

**市長** はい、あの、まあ、これまで通り子育て支援には再編交付金を活用して行きたい。

**たくま** 今ロシアがウクライナ侵攻をしているその現実を目の当たりにして、もし沖縄が戦場となった場合、基地は標的にされるといふことは市長もお感じになっていますか。

**市長** (市長は事前通告にないからと答弁を拒否)  
**たくま** これだけリアルタイムで問題になって  
 いることに対して、名護市民の安全安心を預か  
 る市長として答えられないということは本当に  
 残念なことだと思います。

○旧消防署跡地について(一面参照)

大和ハウス・アベストJ.V.が(入札時に)提  
 出したスキーム図と同一ではない資料が、  
 議会に提出されたことについて、説明を求  
 める。

**市回答** (入札の際 共同企業体(大和ハウス・ア  
 ベストJ.V.)から本市所在の新設法人を設立す  
 るということ(口頭で)説明があった。金武町  
 所在の法人についても調整中と検討段階とい  
 うことだった。その後(事業を行う優先権を得て)  
 実施計画書を提出する際には、議会に提出した  
 形のスキーム図が共同企業体から名護市に提出  
 され、そちらを議会に提出した。

(入札時)提案の際に使用されたスキームは)  
 議会に提出していない。

**たくま** なぜ入札の提案段階で出された資料が  
 変わってきたのか、そのいきさつを全て議会で  
 説明するべきではなかったか。それをしないで  
 途中から出てきたもので説明するなんて議会軽  
 視が過ぎないか。

提案では「実績のあるホクセイ」と書いてある  
 が、サーバントは実績があるのか。

**市回答** 提案の際に詳細検討段階ということだっ  
 た。

**たくま** 実績がある企業と言っておきながら実績  
 があるかどうかは検討中だと。  
 新設法人がサーバントになって、その契約内容  
 は何か変わったことがあるのか。



旧消防署跡地の現在 雑草が生い茂っている

**市回答** 共同企業体からその有限会社サーバン  
 トに契約の権利の継承をするに当たって何か内  
 容を変更したということはない。

**たくま** では(入札時)提案で説明された時、ホテ  
 ルが二棟建つ予定だったが、今もその認識で間違  
 いないか。

**市回答** 実施計画の変更の申し出があり、元々二  
 棟建であったものが、一棟建てに変更がなされ  
 ている。部屋数に変更はないと伺っている。

**たくま** 後出ししないで下さい。また変更されて  
 ホテルが二棟から一棟になった。こちらが言わな  
 ければそれまで何も言わない。そういう行政、そ  
 ういう職員態度でいいんでしょうか。それは名護  
 市の行政の質が問われることになります。

○二見以北交流拠点施設機能強化事業の進捗状  
 況と、工事期間中のわんさか大浦パーク及び各テ  
 ナントの営業の確保についてお答え下さい。

**市回答** やんばるの世界遺産登録を見据えた利  
 用拡大に向け、施設機能の強化、子どもからお年  
 寄りまで滞在できる機能の強化、販売機能の強化  
 を主な柱とした施設整備事業となっている。事業  
 の進捗状況は、整備工事は令和五年度、供用開始  
 は令和六年度を予定しており、工事期間中は営業  
 を一定期間休止する必要がある。指定管理者の二  
 見以北振興会及びテナントへは、施設休止につい  
 て説明をしてある。二見以北振興会からは、工事  
 期間中の対応として、瀬高保育所を借用し、事務  
 所、調理商品製造、通信販売の場として活用する  
 ほか、近隣で農産物の販売ができる仮設営業の設  
 置やキッチンカーを活用した移動販売などを実  
 施すると伺っている。各テナントとは今後話し合  
 いを持ち、しっかりと対応して行きたいと考えてい  
 る。

**たくま** 地域の拠点となるように、応援していきたいと  
 思います。

# 名護市のポテンシャル 地域には未来の可能性がたくさん

去る3月26日に、瀬高区で日本自然保護協会主催の「お宝探し」の報告会がありました。瀬高集落だけでも色々な宝（自慢できるもの）が多数あることが報告されました。大浦湾の5800種以上の生き物はもちろん、鍾乳洞、猪垣、いくつもの史跡などの宝を区民で再認識することができました。

皆さんの住む場所にもきっとたくさんの宝があると思います。その宝を知り、大切に守り、繋げて行く、そういった営みを繰り返すことで、地域を大事にする心が生まれるように思います。そしてその宝は観光資源でもあります。地域の人たちが大切に自然や文化を観光客も見たいものです。名護市のポテンシャル（可能性）をみんなでひとつずつ育てていきたいです。

## 田んぼ再生プロジェクト in 嘉陽



嘉陽区の宮城浩文さん（私の同級生）が田んぼの再生を行っています。今年は私もお手伝いすることになりました。田植えの日には、地域からの参加者に加え、那覇から学童保育の子どもたちが30名ほど参加して下さいました。

自然の中で温かな交流ができて、みんな大満足。嘉陽の田んぼは山に囲まれ、きれいな水に恵まれ、とてもおいしいお米ができる場所です。収穫を楽しみにしています。

## ジュゴンのぼり in わんさか大浦パーク



毎年ゴールデンウィークにはわんさか大浦パークでジュゴンのぼりを掲げています！

ジュゴンのぼりは、うるま市の「海の文化資料館」から頂いた型紙を少しずつ改良しながら手作りしています。保育園の子どもたちが絵を描いてくれたものもあります。風になびくとまるでジュゴンが泳いでいるようです。ぜひ見に来て下さい。（写真は一昨年のジュゴンのぼりの様子）